

島根大学職員組合アンケート集計結果 ダイジェスト版

2012年11月に島根大学職員組合が行ったアンケートの集計と解析が終わりました。大学のみなさまのアンケートへのご協力に感謝します。このニュースでは要点だけをお伝えしますが、アンケート結果について、詳細を知りたい方はくみあいのホームページの[資料室](#)をご覧ください。

1. アンケート回収数

島根大学の正規職員はおよそ2000人、パート、契約職員はおよそ500人です。回収数は530枚なので、20%程度の回収率となります。属性別の回答数は以下の表に示したようになります。

	松江	出雲		松江	出雲
教員	133(33)	72(15)	20代	21(16)	33(21)
職員	129(71)	186(129)	30代	81(40)	85(54)
			40代	68(23)	77(44)
			50代以上	94(26)	67(27)

2. ラスパイレス指数に関する調査

(1-1) ラスパイレス指数という言葉をご存知でしょうか(左の表)

(1-2) 島根大学職員のラスパイレス指数についての現状をご存知でしょうか(右の表)

知っている	松江		出雲	
	教員	職員	教員	職員
24.0%	19.2%	10.2%	4.9%	9.2%
聞いたことがある	松江		出雲	
	教員	職員	教員	職員
21.9%	14.6%	8.1%	7.0%	2.1%
知らない	松江		出雲	
	教員	職員	教員	職員
54.1%	16.3%	7.3%	37.8%	10.6%
		8.8%		27.3%

知っている	松江		出雲	
	教員	職員	教員	職員
13.2%	11.9%	6.0%	1.3%	6.0%
聞いたことがある	松江		出雲	
	教員	職員	教員	職員
14.7%	11.3%	6.4%	3.1%	0.4%
知らない	松江		出雲	
	教員	職員	教員	職員
72.1%	27.1%	13.2%	45.2%	13.0%
		13.8%		31.9%

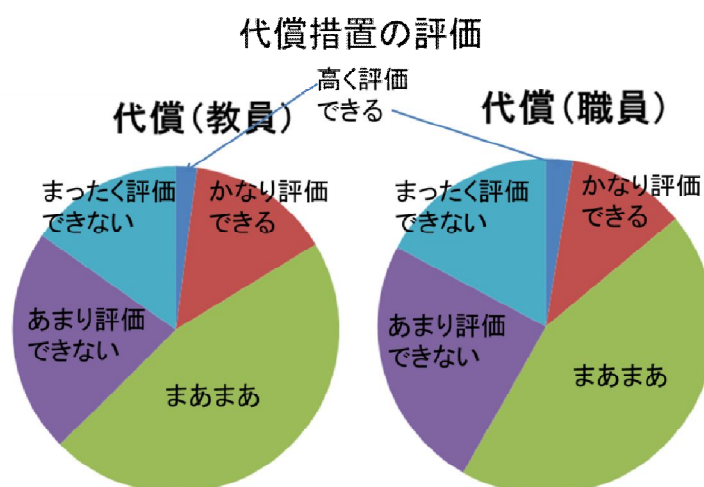
ラスパイレス指数について、「知らない」の回答が圧倒的に多くなりました。特に出雲地区の回答は、松江地区と比べたときの顕著に知らないという回答の比率が高くなり、島根大学職員の給与水準がラスパイレス指数からみて低いことがあまり認識されていないことがわかります。

この問いでは、「ラスパイレス指数」の知名度に絡めて、「付録」を参照してもらい、島大の現状を知ってもらうことを前提としました。

3. 臨時特例賃下げの代償措置の評価

どちらかというと教員への代償措置も職員への代償措置も評価できないという回答の方が評価できるという回答よりは多くなりました。松江地区と出雲地区の間では評価にはほとんど差は認められませんでした。

自由記述欄には仕事へのモチベーションの低下を訴える声が多数寄せられました。詳細はホームページをご覧ください。



4. 子育て支援について

	松江		出雲	
	女性	男性	女性	男性
十分である	2%	2%	5%	5%
ある程度整っている	21%	12%	58%	52%
どちらともいえない	42%	40%	29%	31%
どちらかといえば不十分である	26%	29%	6%	3%
不十分である	9%	17%	2%	10%

アンケートの資料として、出雲キャンパスでのサポート体制が書いてあることから、松江と出雲の評価の差が顕著となりました。「どちらかといえば不十分」「不十分である」を合わせると、松江が男女とも30%以上なのに対し、出雲では10%前後でした。一方、大学の子育て支援に対する評価が高い人も低い人ももっと支援を充実させることを望む記述は松江だけでなく、出雲地区からも出されています。

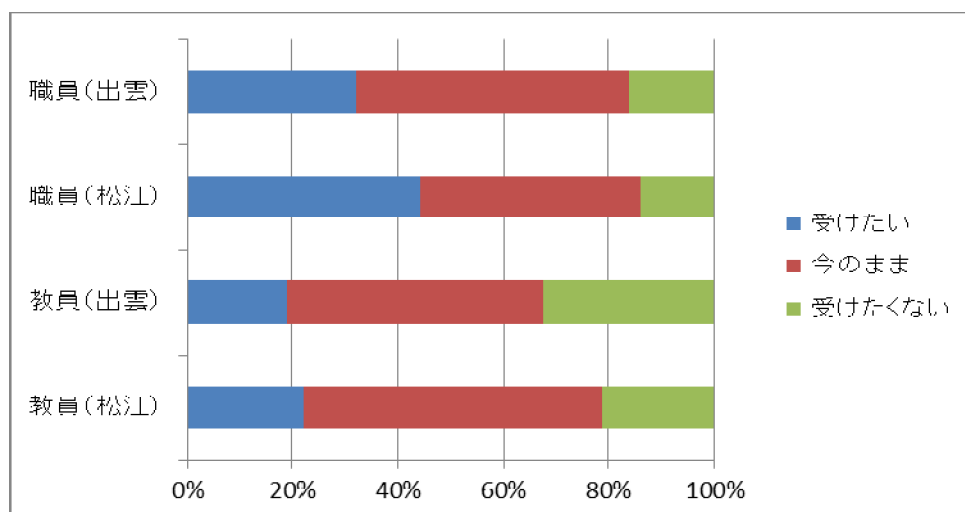
5. 健康診断の検査項目について

	教員		職員	
	松江	出雲	松江	出雲
検査項目を増やしてほしい	39%	45%	23%	25%
今のままでよい	54%	48%	76%	71%
その他	7%	6%	1%	3%

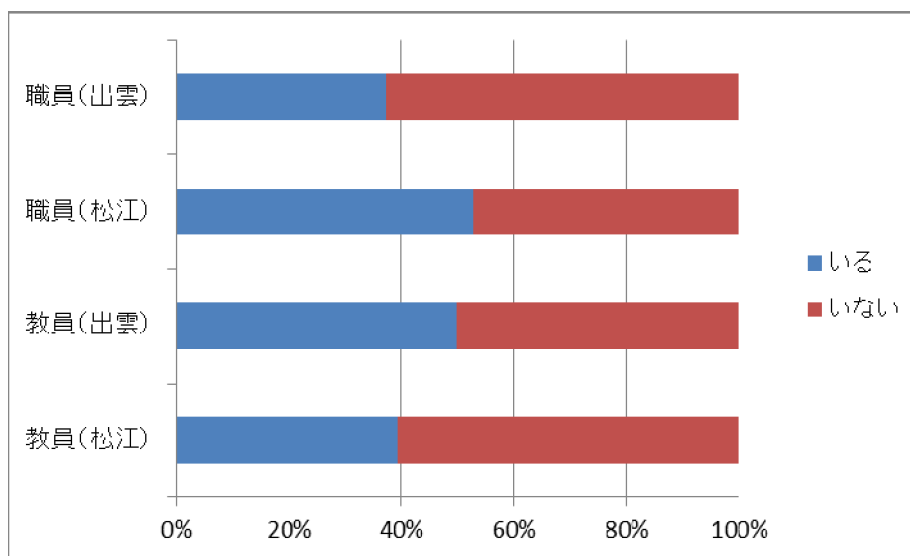
検査項目を増やしてほしいという回答は、出雲、松江とも教員が多数で、職員は現状で良いと回答が多くなりました。血液検査は出雲地区では20代から行っているようで、松江地区からは血液検査の要望が出されています。記述によれば、松江地区では増やしてほしい検査項目は血液検査、出雲地区はがん検診やエコーなどでした。

6. メンタルヘルスチェックについて

(3-1) メンタルヘルスの検診があれば受けてみたいと思いますか。



(3-2) メンタルヘルスの検診があれば、受けたほうがよいのではないかと思う同僚が周りにいますか。



松江地区の職員はメンタルヘルスチェックを受けたい、または受けさせたい同僚がいると答えた割合が高くなりました。

また、自由記述では、メンタルヘルスケアに対しては必要を認める声も多かったのですが、一方で大学で行うメンタルヘルスケアに対しては、秘密保持が担保されるのか、個人情報はどうい

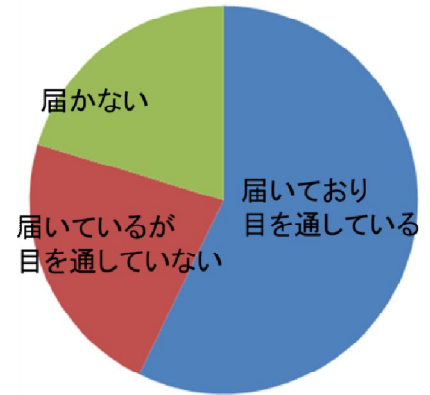
う管理をされるのか懸念する意見もみられました。

なお外部の相談機関で受けられるチケットを配布している企業もあり，そのようなサービスも考慮してはどうかとも考えられます．もちろんメンタルヘルスをチェックするだけでなく，これだけの割合の職員がメンタルヘルスチェックを受けたいと考える現状をかんがみると，予防の取り組みの推進も必要と考えられます．

7．組合の広報活動について

ニュースが届いているか？

半数以上の方はニュースが届いていると答えています．



広報活動の評価

まあまあという評価が多数でした．組合としてもできるだけ情報を提供していきたいところですが，なかなか時間的な制約があり，十分な情報提供はできていないところもあります．

